

2025年6月4日

住友生命相互保険会社

トムソン・ロイター社主催「ALB Japan Law Awards 2025」にて ファイナリストに選出

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、トムソン・ロイターの国際的法律専門誌である「Asian Legal Business(以下、「ALB」)」が開催する「ALB Japan Law Awards 2025^{*}」において、以下の部門でファイナリストに選出されました。

- ・ Compliance and Risk Management In-House Team of the Year
- ・ Atsumi & Sakai Financial Services In-House Team of the Year
- ・ Japan In-House Team of the Year

※ 詳細は右記 URL をご覧ください。 <https://www.legalbusinessonline.com/law-awards/alb-japan-law-awards-2025>

「ALB Japan Law Awards 2025」は、日本国内の優れた弁護士、法律事務所および企業の法務部門を表彰するもので、日本の法律業界において高い権威を持つ賞として知られています。

本授賞式は今年で21年目を迎え、審査は20名以上の各分野の法務専門家によって行われます。

企業の法務部門を対象とするカテゴリーには「Japan In-House Team of the Year」などがあり、上記の3つのカテゴリーにおいて、住友生命がファイナリストに選出されています。



住友生命においては、グループガバナンスの強化・シナジーの発揮および職員の法務知識の向上を目的に、コンプライアンス部門傘下に「法務室」を設置し、教宣資料の作成や勉強会の実施等、様々な施策に取り組んできたところ、法務室での法務知識を活かした高度な業務運営が評価され、ALBのファイナリストに選出されました。

住友生命では、現在、法務室に7名、全社では12名の弁護士が在籍しています。今後も高度な法律知識を活かし、社会・お客さまの「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現を目指します。

以上